

E Z - W I N総合評価シート 2020.07.19 函館11R G3函館記念 ハンデ 15:25 想定RP指数 47-50

枠番	馬番	馬名	性別	年齢	負担量	予想人気	調教偏差値S	調教偏差値A	パターン評価☆	自己最高値更新	前走比偏差値up	中間調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	レシポ	最高補正指数	RP指数好走レンジ	総合評価点数	
×	1	1	レイエンダ	牡	5	57	1						17,10	10,5	3,14	29	24						114	46	65.8	21
◎	1	2	バイオスパーク	牡	5	55	3						4,2	8,4	6,5	36	24						112	49	62.5	21
×	2	3	ミスманマミーア	牝	5	52	8						16,2	12,1	7,2	22	18	\$	\$				110	48.6	60	37
	2	4	ランフォザローゼス	牡	4	55	11						11,13	9,15	7,3	27	17						109	49.8	54.3	21
×	3	5	カウディーリョ	牡	4	55	2						5,2	1,7	1,10	29	63						110	52.3	61.3	25
★	3	6	ドウオーモ	牡	7	53	12						9,6	16,2	13,2	3	3						112	41.7	58.8	18
	4	7	レイホーロマンス	牝	7	51	14						7,15	8,8	16,1	0	8	\$	\$				115	46.7	57.3	25
▲	4	8	ベストアプローチ	セ	6	56	10						8,1	6,2	5,1	17	17	\$					114	52.7	60.7	33
×	5	9	レッドサイオン	牡	4	54	9						5,8	6,3	6,4	19	17						105	46.1	61.1	28
×	5	10	トーラスジェミニ	牡	4	56	4						1,4	1,9	2,12	60	24						113	44.6	55.6	22
×	6	11	スズカロング	牡	6	51	15						3,6	3,2	2,11	13	8	\$	\$				100	50.5	55.9	28
×	6	12	プレシャスブルー	牡	6	54	5						10,1	11,8	7,2	43	37						115	46.2	57.2	27
×	7	13	ニシノデイジー	牡	4	56	6						3,16	8,3	7,9	35	24	\$					113	46.4	53.9	25
	7	14	アドマイヤジャスタ	牡	4	54	13						10,6	11,12	6,14	4	8						107	51.8	57.7	7
	8	15	ナイトオブナイツ	牡	7	55	16						6,9	8,14	12,5	0	3		\$				110	47.5	56.9	13
○	8	16	マイネルファンロン	牡	5	55	7						10,11	4,7	2,12	31	17						116	45.6	56.7	28

馬名赤文字(白抜きも含む)はロベルト系を持つ馬。

【馬場傾向】

昨日の函館芝中距離は、欧州馬場で特に「ステイゴールド馬場」でした。

そして芝のレース7鞍全てで逃げ・先行馬が優勝しておりました。

現状は「前残り馬場」で、やはり先行力は重要でございますな。

最終レースの芝 1800mで逃げ切ったのはステイゴールド産駒の

11人気の14番レッドフィオナ

10人気で5着に好走したマルーンエンブレムもオルフェーヴル産駒

7人気2着のターフェルムジークは、欧州型ブランドフォード系ノヴェリスト産駒で

祖母の父に欧州型ネヴァーベンド系。

ディープ×マキャベリアン(高速馬場適性を高めるミスプロ系種牡馬)という配合の

1人気メッシーナは馬群に沈み2ケタ着順という結果。

父が欧州ロベルト系スクリーンヒーローながら、母系が米国型が濃い配合の

2人気レオンドーロは3着に敗れ、ディープ×キンカメというダービー配合の

3人気レースガーデンは4着と馬券圏外。

欧州色の濃い下位人気が恵まれるのは、馬場の傾向を強く物語っておりますな。

ちなみに土曜8Rの芝2600mを勝ったのも

ステイゴールド系種牡馬ゴールドシップ産駒の5人気でした。

あと、距離を問わず、欧州型のミスプロ系(キングマンボ系含む)も多数好走しており血統傾向に合致する「馬名に背景色」や、「馬名赤文字表記」になっている馬には要注意でございます。

【展開予想】

函館記念のラップパターンは、平坦ラップでラスト2F目だけチョイ加速し、

ラスト1Fは少し大きめに減速するという持続力型ラップ

今年レースを引っ張るのは恐らくトーラスジェミニ。
コーナー4回のコースでこの馬が引っ張るパターンは
函館記念特有の持続型ラップと同じパターンでございます。
枠の並びから、2番手が濃厚なのは大外枠に入った

マイネルファンロンで、この馬も函館記念ラップが合うタイプ。
ハナ、2番手共に同じラップパターンを好むので、
恐らく例年通りのパターンとなりましょう。

推定1人気レイエンダは父がキングマンボ系で母父がロベルト系。
キングカメハメハ産駒は内枠を得意としており、本馬自身は
内枠に入るのは初めてですが、外寄りの枠よりも真ん中より内目の枠が好成績。
同コースで2勝クラスを完勝しており、叩き2走目だけは必ず仕事をするタイプ。
ただ、ラップ的には加速幅の大きな瞬発戦を得意としており、
函館記念特有の平坦ラップでラスト2F 目だけチョイ加速し、

ラスト1F は少し大きめに減速するという持続力型ラップでどうか？ですな。

推定2人気のカウディーリヨは、重賞3勝馬ディアデラノビアの仔。
全兄弟は揃って直線の長いコースの方が成績が安定しており、
ローカルの小回りとは少しイメージがずれておりますな。

札幌で2勝しており、洋芝適性を見込まれての人気かと存じますが
函館と札幌は、求められる適性が真逆のコース。

札幌の3角から4角に向かうコーナーは半径が大きく、
高速コーナーであるために、コーナー部分も直線の一部。
そのため札幌記念で好成績を残すのは主流血統が多く、
中央の、広く直線の長いコースを得意とするタイプがそのまま通用するコース。

函館のコーナーは角度が急で、よほど器用なタイプでなければ
コーナリング中に加速を始めるのが難しく、それゆえに非主流血統と呼ばれるような
欧州的な持久力を強化された血統を持つ小回り巧者が、
前に行ってバテずに粘る競馬になりやすく、直線のトップスピードを
強化する血は役に立たぬ上にむしろ邪魔になりますな。

ただ、本馬の場合「平坦ラップ」を好む傾向があり、能力的には微妙なレベルも
一応おさえておくのが無難かもしれませぬ。

本命は2番バイオスパーク

ステイゴールドとロベルトの血を併せ持つ「重賞レポート推奨馬」

平坦ラップも OK で、内枠でキッチリと仕事をするタイプ。

もう1点、押し材料は、母父に欧州型ミスプロ系マイネルラヴを持つこと。

昨日の函館芝レースでは、母父マイネルラヴという馬が3頭馬券になっております。
キングマンボ系を含め欧州型ミスプロ系を持つ馬が、昨日馬券になった21頭中11頭。

自分好みのペースで先行出来そうなマイネルファンロンが対抗。
この馬もステイゴールドとロベルトを合わせ待っております。
外枠で良い仕事をするタイプでもありますな。

爆穴は6番ドゥオーモ

ディープ産駒のハンデ戦で仕事をするタイプ。

このタイプは、ハンデ戦で何度も穴をあけることが多く

小倉大賞典で大穴をあけたときのラップが「函館記念型」でございました。

祖母の父ジェイドロバリーは欧州型ミスプロ系で、うっすらとですが

血統傾向にもマッチしておりますな。

また、前走「巴賞」敗戦組(6着から9着)だった馬の巻き返しが多いレース。

その複勝率は過去 10 年で 26.7%

8番ベストアプローチも前走巴賞敗戦組。

青葉賞2着のラップパターンが函館記念型で、
祖母の父がロベルト系。

馬券は3連複フォーメーション27点

2番-6・8・16-印を付けた11頭

3連単1頭軸マルチ18点・馬連流し3点

2番-6・8・16